

エアーズ 第三者割当増資を実施

ACSL 1号有限責任事業組合、リバネスキャピタルから

株式会社エアーズ（本社：東京都港区、代表取締役：實籾 富二男、小豆嶋 和洋）は、株式会社 ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷺谷 聡之）が運営する ACSL1 号有限責任事業組合、株式会社リバネスキャピタル（本社：東京都新宿区、代表取締役：池上 昌弘）を引受先とした 66 百万円の第三者割当増資を実施したことをお知らせします。

第三者割当増資の目的

当社は、産業用ドローンの普及を支える専門家集団として、安全管理、空中写真測量、非破壊検査、農薬散布などの分野の実用的な教育を全国 27 校の JUAVAC ドローンスクールを通して展開しています。併せて、ドローン及びドローン関連ソフトウェアの販売、密漁監視などのソリューション開発を行っています。

今回の資金調達の目的は、国産ドローンの市場拡大に合わせて産業用ドローンスクールを拡大し、ソリューションの開発、提供を推進することです。

関連情報

【株式会社エアーズ】

エアーズは、産業用ドローンのサービスプラットフォームを目指して、産業用ドローンスクール「JUAVAC ドローン エキスパート アカデミー」事業を行っています。

ACSL 製ドローンの販売、周辺ソフトウェアの販売を、全国の「JUAVAC ドローン エキスパート アカデミー」と協力して行っています。

※株式会社エアーズ会社概要は <http://airds.co.jp/> をご覧下さい。

【株式会社 ACSL（旧商号：株式会社自律制御システム研究所）】

ACSL は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。ACSL 1号有限責任事業組合は、ACSL と技術シナジーが期待できる国内外企業へ投資を行うために ACSL が 2020 年 12 月に設立したコーポレートベンチャーキャピタルです。

※株式会社 ACSL 会社概要は <https://www.acsl.co.jp/> をご覧下さい。